(1) 日刊（除月曜） 昭和21年6月1日（第三種郵便物認可） 昭和24年2月23日 運輸省特別扱承認第238號 いわき民報 夕刊 昭和26年2月23日（金曜日） 第1460號

いわき民報

發行所
平市田町48 電 381 176 1222
いわき民報社
編集兼印刷發行人 田原登

報道は 迅速 正確
本紙はいつでも自由に購讀出來ます お申込みは本社又は販賣店へ
いわき民報社

新豫算額は二億

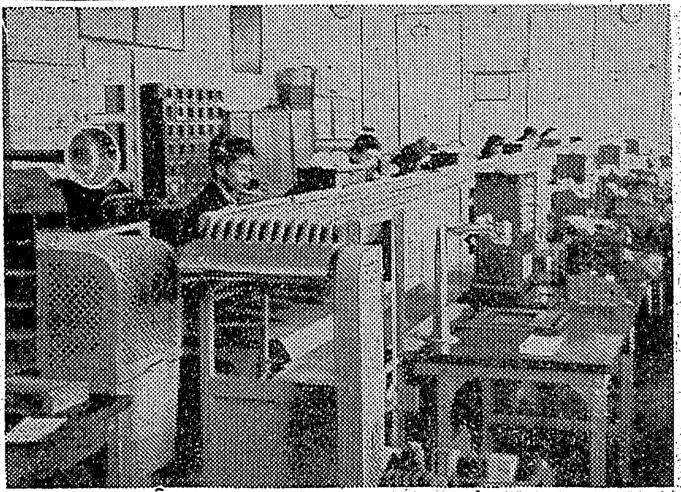
廿四日 參與會で協議

平市參與會は二十四日午後一時から開き二十六年度當初市豫算編成の打合せを行う 二十六年度當初豫算は市當局で編成中であるが一億九千八百万円にのぼり（二十五年度當初豫算九千五百万円）事業面では第二、第三中の繼續事業である雨天体操場、第三小の増築、各小中學校の修繕に重點が置かれ、當初豫算には平衡交付金は前年度の假決定二千十八万一千円を計上している なお稅法も改正される狀勢にあるので政府の財政方針決定後追加更正することになつている

三千八百石の増産へ

四時川工事の起工式

四時川沿岸の改良工事は縣營をもつて本年度から三ヵ年の繼續事業として着工されるが本年度は三月一杯をもつて二百十万円の工費が支出される 水源地は川部村字小川畷川の支流たる四時川より取り入れる此の水路延長五、八七〇米悉くクンクリート補裝で四十二箇の水門が流れ込む豫定となつており、就勞者は一日平均五十人とし延二百日を費す見込みである、工事完成の曉は比較的地味肥沃な廣汎な農耕地が産み出され尠くとも三千八百石の増産は可能との折り紙が付されているだけに關係町村の利益は大きい、四時川沿岸改良地區工事の起工式は二十一日午前十一時から錦町東北配電變電所附近にて擧行された、此の日縣知事代理山内農地部長の式辭に次で工事施行の内容報告があつて知事代理として高木理事長の鍬入式があり、終つて縣議阿部農地常任委員、星縣議、鈴木川部村長の祝辭があつて終了した



四時川に吊橋架設

三月末完成

平土地改良事務所では川部村川平地内の百十三町歩に亘る開墾事業に伴う補助工事として同地内の四時川にまたがる吊橋架設工事に着手することになつた、工費豫算は五十万円で吊橋は長さ三十米、幅一米半、完成は三月末の豫定

知事視察延期

蠶二倍増産を目指すために來郡し養蠶家庭と親しく懇談をする筈であつた大竹知事はその後縣會の日程の都合により三月末日まで郡視察旅行は延期となつた

電報扱いの敏速化

東北一の運信機設備

平電報局では去る三日から電報取扱いの敏速化を圖るため新式運信機を今回設備した、この機械で從來の電報の送受時間を約十分程度短縮出來るので非常に便利になつた

この運信機は東北地方では初めてお目見得したもので四國高松局に次ぐ全國で第二番目のものと云つている 運信員が送受の電報を持つて各回線座席から次の座席へと歩くような必要がなく受けた電報が自動ベルに乘つて電報受函に集まり、又發信する電報は所望の回線座席まで配信ロープを傳わつて送られて行くという便利なもので總經費七十五万円、東北では只一つの機械だと自讃している（寫眞はその運信機）

缺席督勵班の活動奏效

湯本町の生徒出席率向上

湯本町常磐中學校では炭礦地帶の特殊な環境にあるため生徒の不良化が激しいので九學區に兒童福祉施設として母親會等を設け生徒の善導につくして來たが不良化防止の一環として九學區に缺席對策委員會を設け督勵班が生徒の出席率を高めるため毎朝學區内を督勵して歩いた結果、出席率が向上し一年前まで約一割の缺席率だつたのが現在では〇・三割に減じ二月二十日現在で二年三組九九・七%、三年一組九七・五%、二年一組九七%の出席率を示し一番悪いクラスで九三・六%の效果をおさめ關係者を喜ばせている 尚同校では今後共これを續行し最優秀のクラスを表彰することになつている

母子募金完遂

内郷町では母子援護資金募集目額五万九千三百九十六円を二十日完遂した

今度は火力發電誘致

小名濱町できよう協議

小名濱町では二十二日午後一時から町長室に工場誘致委員會を開き火力發電所の誘致について協議した、この火力發電所は今度の電力再編成に伴い猪苗代水系の各發電所が關東地區に歸屬するため東北地方の電力が不足するのでこれを補うため日本發送電株式會社では東北に一ヵ所火力發電所を設置すべく計畫、小名濱、平、磐城、八戸、酒田を候補地に擧げて立地條件を調査したばかりなので各地に魁け小名濱に誘致の運動を起そうというわけ、同發電所は工費三十億円、敷地四万坪、發電力六万キロで同町日本水素火力發電所の約十倍という大規模なもので用水の硬度が適水であるのと炭殻の捨場を海岸に求めれば容易である事など立地條件としては非常にかなつていると同町ではいつている

鎌田山上水道工事

來る廿七日起工式

鎌田山上水道擴張事業は資材その他の準備が完了したので來る廿七日午前十一時から現場で起工式を擧行する

配水池工事

堀江に落札

鎌田山に設置する上水道の配水池築造工事は十九日堀江工業に指名入札、百六十二万円（見積三百万円）で豫算通り落札、二十日から着工、本年六月二十日で完成することになつている

强風特報と火災警報

小名濱測候所では二十二日午前八時強風特報と火災警報を發令したが、陸上では風速十五米に達する見込みで二十三日には和らぐだろうと云う これは東支那海に發生した低氣壓が發達しながら樺太方面へ拔ける場合に生ずる旋風で春にさきがけて起る現象、このため南西の暖風が吹きまくるので最高氣溫は十四度六分、花の四月中旬ごろの陽氣だという

警備隊のサイドカー轉落

巡査と醫師が負傷

二十一日午後一時ごろ平市八幡小路地内地裁平支部前の急坂で常磐地區警備隊のサイドカー＝運轉手橋本利男（二四）巡査＝が通行人を避けようとして雪どけ道のため約十米下の縣道に轉落しサイドカーを大破、橋本巡査は腰部に全治十日間の打撲傷、また警察官の家族診療のため同乘していた古鍛冶町醫師後藤全久（三八）さんは頭部に全治二週間の裂傷を負つた

車内でスラる

錦町大字中田字落合無職伊藤トシ子（三二）さんは二十二日下り二二三列車（平着七時五十七分）綴─平間で現金四百円と定期券入れの財布をスラれた

大小宴會は [illegible]

佐藤殺しでまた二人擧る

三木博士が死体解剖

既報＝四倉町署では祭りの夜の殺人事件について鋭い追及を續けているが、二十一日午後には佐藤殺しの容疑者として同町仲町無職印南松治（二四）同字無職富岡一（二五）の兩名を檢擧した、また佐藤を殺した出刄庖丁は兇行當夜同町仲町地内の民家から持ち出されたものと判明、佐藤の死体には出刄庖丁による刺傷の外に十七ヵ所にわたる日本刀、短刀等の刺傷があるところから、佐藤は八巻一人に殺されたものではなく子分數名に滅多切りにされた疑いが濃厚で地檢平支部では二十二日午後一時から東北大三木博士執刀で佐藤の死体解剖を行つた、尚八巻は虫の息で一命を取り止めている

檢事控訴は棄却の判決

配炭疑獄事件

元配炭公團常磐支團業務部運炭課長鶴山菊次郎（四二）同支團査業課長三好孝慈（五一）元仙台配炭局福島支局若松出張所長菅井正（六二）同支局郡山出張所長杉村三郎（六六）元常磐支團調整課第二係長清水平五郎（三六）ら五名にかかる選別炭にからむ收賄、物統令違反、同ほう助の檢事控訴審公判は二十一日仙台高裁大野裁判長係りで開かれ、檢事控訴棄却の判決があつた、理由は原審裁判所が檢事側の申請した證據を取調べないで無罪の判決を下したのは不當であるとあるが、原審裁判所が證據能力のない檢事側の證據を調べなかつたのは正當であるとして棄却したもの

遭難の死体發見されず

去る十五日鹽屋崎沖合で遭難した第三太陽丸乘組員の死体搜索は二十二日午前零時を期して江名町中の作港所屬漁船七十四隻が一齊に出動したが波が高いため搜索は非常に困難を極め正午までに一人も發見されてない

今朝の小火

二十二日午前八時四十分ころ平市佃町三九靴製造業菊地現一さん方工場二階に居住の雇人森田キク（三四）さんの炊事場から發火、腰板三尺四方位を燒き消した、烈風が吹いていたので市民を驚ろかした

勞協締結の座談會開く

きようから

平勞政事務所では勞働協約未締結の中小企業場の一般勞使を對象とし勞協締結促進に關する個別指導と啓蒙を行い併せて合理的な勞使關係の確立を助長するため次の日程で職場座談會を開く

▽二十二日平市勞働會館▽二十三日小田炭鑛▽二十四日小野田炭鑛▽二十五日常磐炭礦▽二十六日大阪造船所▽二十六日戸部炭鑛▽二十五日平市丸ほん勞組

トラックの小火

二十二日午前十一時ころ平市三丁目横山商店前で木炭ガスを發生中のトラックに發生爐のそばにあつた炭俵が燃え出し折からの突風に火事騒ぎを演じポンプも繰出されたが何等の被害は無かつた

天氣予報

二十二日

【今晩】南の風やや強く晴後曇、所によりニワカ雨【明日】南の風やや強、薄曇 風は次第におさまる、海上は南の風風波が高い故今明日共注意、目下强風特報發令中

、盛松院葬送の際は御多忙中の處遠路態々御會葬下され且つ御丁重な御弔辭御香奠を賜わり誠に有難うございました 略儀ながら紙上にて御禮申上げます

昭和二十六年二月二十二日
湯本町吹谷四八
喪主 若松一郎
外 親戚一同

女給さん急募
二十二才より三十才位迄の方
委細面談の上特に經驗者を歡迎す
江戸前 壽し
松葉
小名濱町電三四四番

主婦と生活 婦人生活 講師 飯村清子先生
毛糸編講習會
講習日 3月4日（第1日曜日）より
毎週日曜午前九時より午後四時まで
經費 材料費及實費 金200圓
場所 平驛前 ヱビスヤ2階
申込所 同 ヱビスヤ編物部
洋服地と毛糸の店
平驛前 電438 ヱビスヤ

ウマイと評判
カキフライ
ナミキドウリ
ブラジル

庶民住宅入居希望

◇受付開始◇

今般小名濱町大字岡小名字立石六四に新築中の庶民住宅十戸が完成することになりましたので入居希望者は二月二十八日までに當町役場厚生課に御申込下さい

入居該當者は次の通りです

一、現在住居に困つている者（立退要求、狹隘な不良住宅、遠距離通勤者、密住、別居等）
二、日本經濟安定に役立つ業務に從事している定額取得勤勞者
三、庶民住宅所在の町の區域及びその隣接町村區域に勤務するもの
四、月收一万五千円以下八千円以上のものにして家賃支拂能力あるもの

（申込用紙は當町役場厚生課にあります）

小名濱町役場

耳鼻咽喉科
高柳醫院
高柳博明
平驛前（電一一二番）

出火お詫び

二十二日出火の際は早速お駆付け下され大事に至らず鎭火いたし誠に有難うございました お見舞を頂きましたが取込んでおりまして御芳名洩れもあることゝ存じますので紙上にて御禮申上げます

平市佃町三九
森田キク
誠司

近火見舞御禮

平製靴工業株式會社
社長 菊地現七
平市佃町三九

週五日制は廢止せよ

（上）

PTA役員 光英博明

週五日制はとやかく論議されて居りますが、時期尚早であろうと申したいのです、其の理由は

（1）アメリカの如く約三百年間自由平等が養われて來た國と、日本の如く終戰以前までは封建的であつたのと根本が違う事

（2）アメリカの如くもてる國と、敗戰の日本で生活に困つて居ること

（3）アメリカの如く社會施設が十分行き渡つている國と、社會施設がないこと

この樣にアメリカと日本とは事情が違いますので、週五日制の如き高度の敎育制度を採用して、適するかどうかは、賢明なる方々のよくおわかりのことで、弊害こそあつて効果は少ないと思います

次に昭和二十四年四月二十日のいわき民報に、新敎育と週五日制縣敎育委員木村守江氏が、三日に亘つて連載されました、のみならず同僚のものを印刷して、PTAにも配付されました、そのむすびを原文のまま轉載致します、「相當難點があると評されていた一週五日授業制を突如四月一日から、實施することになつた直接の動機は何といつても現職敎師が、新敎育研究、講習、敎員組合運動によつて敎壇を離れる時間が多過ぎて小學校平均九八〇時間、中學校二〇五〇時間の完全授業が出來なかつたと云うことにある、しかし週五日授業制は新しき地域社會敎育を實施する爲にふさわしい機構を多分に包藏している、一週五日授業制は敎師も生徒も土曜日と日曜日と週二日休みとなるのだと云う誤解を訂正し、一般地域社會の協力によりその精華を發揮したい」とありました

週五日制は率直に申せば敎師に都合のよい制度で、生徒には非常に困難な制度であると感じました、その理由は現職敎師が新敎育研究、講習は五日制にせねば出來ないとは相當考える餘地がある、六日制の處は如何にしてやつて居るか夏休春休冬休農繁期休を利ようする方法其他考えれば幾等でもあると思います、次に敎員組合運動により敎壇を離れる時が多過ぎる、これは敎員個人の集りと考えますがそれに多くの時間を取ると云うことは、公私混合と云うべきではないでしょうか

次に生徒に土曜日と日曜日と週二日休みとなるのだと云う、誤解を訂正する、これは實に六ヵ敷い問題で、子供は自主的になかなかやらない遊びまわる家庭では便利であるから、家事の手傳をさすそれが爲に敎養が低くなる、青少年の犯罪がふえ、これは父兄が十分に氣を付ければよいが生活に追われて居る、社會には子供に適した施設がないから、敎育環境に置かれない

大手四社だけが解決

殘るは中小炭鑛の廿一

賃上爭議を省みる

▽―今般の炭鑛爭議は炭勞の大手四社が十余日に亘るスト騷ぎで三菱、井華は六千六百七十五円三井は六千八百円とそれぞれ昭和二十四年以來の五千四百円ベースの釘付けからやつと解放され、磐炭勞傘下の常磐、好間、隅田川の三社共斗も中央大手と歩調を併せスト突入寸前でそれぞれ安結を見るに至り今までの五千四百円ベースから隅田川古河好間は六千五百円ベース常磐は六千六百七十五円ベースに上昇した

▽―今回の炭勞爭議を省みると昨年春國會共斗の主体となつてドッヂライン大幅修正を叫んだ政治的斗爭から離れ純然たるベースアップの經濟斗爭に終始したというところに意義があり當時はベースアップは確立されずワズかに生產精勤賞與をかち得たに過ぎなかつた。炭勞自体も今度の斗爭にはこの點充分に考慮し、磐炭勞としては昨年六月斗爭において中央大手五社が突破口となつて斗爭した際にこの中央の決定を見守りその後その何％おちで交渉するという地方組織が中央に準じた斗爭に終始したものを今度の場合は中央大手の動きを地方組織も充分に拘束し常磐地區にあつては三社共斗が地方の主体となつて復元、ベースアップの方向へ强力にリードしてゆくという形で進んだものであつた

▽―磐炭勞としては中央大手と歩調を併せる段階に至つてストを行わずに濟んだ點「客觀情勢が有利をもたらし勞使とも多大の犠牲を拂わず濟んだのは幸だつたが、ヤマ自体としては單なるハッタリではなく中央の動きからスト突入は必至と見ていたしもしストに入れば小名濱臨港は手持貯炭もワズかで運輸中止するの止むない事情に立至るワケだつた

▽―磐炭勞事務局では三社の獲得したベースは「中央大手に比べると數字的に幾分低いかも知れないが、中央大手は基準外が基準内に加入されたものが多く古河好間では基準外が從來の儘となつている點實質的には何等劣つていない」と語つている

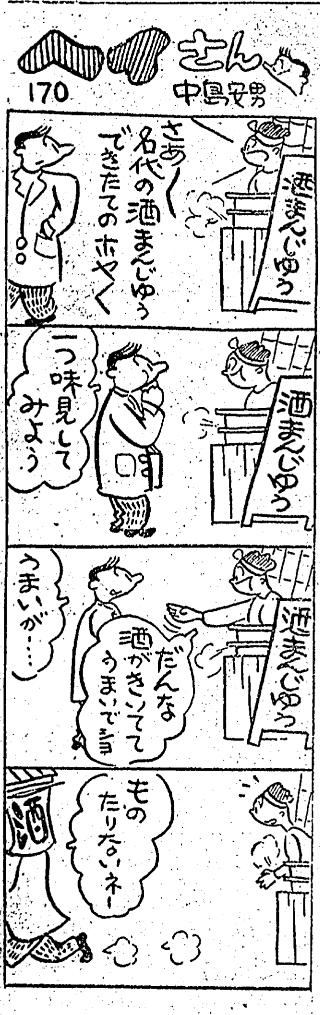
▽―だがこの斗爭は未だ第一段階が濟んだダケで磐炭勞傘下には殘る二十九單組（職組も含む）のベースアップ、復元斗爭が殘つており二十一日から早速この中小炭鑛に斗爭体制をもりあげて强力な交渉を推進し始めたが、經營實情によつて賃上げ斗爭の不能なヤマには福利施設、住民税の會社負擔、勞働協約締結等の經營再建運動に乘り出すことになつた

▽―日鑛常連の賃上げ交渉は統一交渉で進み組織が弱小炭鑛であるだけ、下に一定の線を決め經營能力のあるヤマはその實力に基いてベースアップも確保出來るという協定を結んだのに對し炭勞は大手筋に重點を置き次に中小炭鑛に及ぶといつた方法をたどるのは組織そのもの丶大きな違いからである＝解説＝（O）

阿部助役謝罪

敷地買收問題解決

專賣公社平出張所の新築敷地買收問題は阿部市助役が離作料反當り二万五千円で地主側（小作人十四名）と勝手に決定契約した、花澤交渉委員の語る處によると助役もその專横な點を謝罪したし縣農務課長も円滿にと斡旋したので承認したが、この値段は早速復興事務所からも苦情が出て來た


さん
170
中島安男
さあ〳〵 名代の酒まんじゅう できたてのホヤ〳〵
酒まんじゅう
一つ味見してみよう
酒まんじゅう
うまいが…
だんな酒がきいててうまいでヨ
酒まんじゅう
ものたりないネー
酒

職業補導所を開設

自動車修理工五〇名を收容

平職安所に附屬公共職業補導所が開設されることになり失業に悩む人々に明るい話題を投げている―朗報は二十一日午後一時から石城地方事務所に開かれた平職安所管内失業對策部會に出席のため來平した、縣職安課長樋口正氏からもたらされたもので樋口氏の語るところによれば『現縣下には七十二ヵ所の公共職業補導所が設けられているが最も勞働事情の惡い石城地區には此の設備がなく以前から開設すべく着々準備中であつたが、いよいよ四月から開設に着手することになつた、補導種目は自動車修理工で修業年限は一ヵ年、一期入所生は五十名を限度とし將來は金屬熔接工の養成も行いたい意向で建物は一應既設建築物を借用し、漸次增設する豫定である、全部を新築するとなると五百万円はかかることになるので本年度は先ず二十五万円内外の豫算で開設したいと考えている』尚借用する建物については言明を避けていた、補導所は學科敎室二室、實習所一室となつている

木炭品評會

好評裡に終る

田人村

大規模の田人村木炭品評會は三日間に亘つて同村小學校で開かれた、出品者は約百名、二百六十一俵に達し審査の結果左の如く入賞し二十日好評裡に賞状及賞品授與式が行われた、蛭田農協組長、會長澤田村長の挨拶、地方事務所關野林務課長の好評があつて賞品を授與、來賓祝辭後、浪界の人氣者鈴木照子一行の浪花節があり盛會であつた

△特等（林務部長賞）緑川智、小野喜太郎、芳賀武、鈴木功、芳賀寅吉△優等賞（縣販連會長賞）神田榮、馬場靖、渥見春吉△一等賞伊吹末吉、鹿瀬春吉、國上吉之助△二等安田藤次郎、芳賀武、芳賀八雄、佐藤一男、芳賀力三、高野利幸、清井正三、仲田朝男、小野松次△三等福田榮外十七名

南中郷中學增築に決る

廿四日地鎭祭

南中郷中學校增築校舍三八五坪（十敎室）の請負工事は植田町丹野組が四百八十七万円をもつて着工に決定し來る二十四日地鎭祭を行つて三月一日より着手し七月三十日竣工の豫定

公民館振興座談會開く

廿七日から

縣敎委石城出張所主催映畫巡回及び公民館振興座談會は泉村二十七日午後一時、内郷町二十八日午前十時、大野村三月一日午前十時から公民館關係者並に一般文化團体員を集めて開く

罰金高二百六万圓

昨年中 依然として縣下一

地檢平支部では昨年一月から十二月までの間に課した罰金刑は二十八件で十七万九千八百円、また平區檢での罰金刑は六百七十件で百八十八万六千百円合計六百九十八件で二百六万五千九百円で前年に比較して余り變りなく相變らず縣下第一位という有難くない成績である、内譯は次の通り

【地檢平支部】△前年の徴收未濟分、八件十二万六千九百円△本年新の徴收分、三十六件三十六万三千五百円△納附、二十五件十一万八千八百円△他方廳に囑託三件五万千円

【平區檢】△前年の徴收未濟分、二百八十六件九十九万五千百五十円△本年新の徴收分、六百三十九件二百二十一万三千九百八十円△納附、六百七件百六十七万千五百円△勞役場留置、十一件一万百円△消滅、十二件四万六百円△他廳に囑託四十九件十五万六千九百円

五名を表彰

平郵便局ではお年玉つき郵便葉書の發賣にあたつて優秀な成績を示した次の者がこの程仙台郵政局長からの表彰があつた

△郵政事務官小泉五郎、同小野德治、同木村文雄、同古川盛勝、事務員戸田安行

會議

▽石城地方事務所民生課の町村社會主任打合會は二十七日午前十時半から

△石城町村長會の町村長會は二十八日午前十時半から―二十六年度豫算、二十五年度決算等を協議する

▽縣敎委石城出張所の石城青年會は三月四日午前九時から

▽また郡下校長會は三月十三日午前九時から、各れも地方事務所會議室で

木炭サギ擧る

郡山市神明町六〇新炭商松島一男（三〇）は昨年十月五日湯本町吹矢八〇新炭販賣業阿部利助さんから木炭六百五十俵の賣買契約金として現金六万五千円を詐取し逃走中だつたが二十日郡山市署に捕まり湯本町署に身柄を送致された

住宅サギ

泉村本谷字入五一無職小野進一（二四）は昨年十月三十一日湯本町三函一四〇菓子販賣業佐藤清（六〇）さんに家と土地を世話すると嘘を吐き二万八千円を詐取したほか、十一月から十二日間湯本町天王崎一四建築業鈴木一郎さん方の番頭だと僞稱し東京都台東區車坂町あづまや中原はつ（四三）さん方に滯在二万一千四百円を無錢飲食し逃走中だつたが二十日湯本町署に捕まつた

花賭博で擧る

平市大字中平窪字高橋五四精米業小室正行（三六）同字富貴内六二農業福田良一郎（四九）同字七〇農業松本増吉（六七）同字上平窪字横山六一農業鈴木三明（五二）同大字中平窪字勝見澤一四農業上要利一（四六）赤井村大字赤井字不動堂七二土工遠藤道（二一）澤渡村大字澤渡字根小屋一〇一製炭業松山太郎（四五）赤井村大字赤井字帛任新町一三四浪曲師高千穂こと成興春（二七）ら八名は二十日午後一時半頃小室方で花札賭博中現行犯で平市署に檢擧された

少年五人擧る

學校から盗む

内郷町堀坂七中學三年生古川某（一五）外四名の少年達は昨年十一月二十日午後七時ころ同町内町小學校三年生の敎室に忍び込み雜誌、アリババ物語等學級文庫二十七册千二百円相當、硯箱一コ五百円相當を盗んだことが判り十九日内郷町署に捕まつた

ラジオ

JOCP JOHQ

【23日】ローカル 郡山放送

前七、一五 池ノ台談話室「隨想」安高長栗原茂

後六、三〇 縣政便り「兒童憲章について」縣民政部長渡邊浩

七、三〇 郷土の夕（一六一）「我々の町」縣郡山養老園長國分豐藏外

あかやのネクタイ

定評ある大塚の靴
紳士靴
婦人靴
＝高級品＝格安＝
大塚
平驛前通り電七七

外科
松田病院
【入院随意】
小名濱町驛前通り
電四三一四番

ニュートーゲン
お砂糖の大增量!!
【良イ、量が多くて安い!!】
【良イ、甘い甘い新家庭の樣】
【良イ、砂糖と同じ味 驚いた】
【良イ、一罐で砂糖二貫匁になる】
奥樣
御近所の販賣店へ！
（各有名食料品店で販賣中）
貴女に當る！
特賞
百万圓
抽籤券は
各販賣店で
宣傳用
特賣品
賣出し中
代理店
白土正藏商店
平市古かじ町
電話六九三番